

脱税を許さない 信念と情熱

下川 友貴恵 国税局 | 2009年採用
Shimogawa Yukie 調査査察部 査察管理課

Question 1 現在の仕事内容について教えてください

私は現在、国税局の査察部門に所属しています。いわゆる「マルサ」と呼ばれるこの査察部門は、申告納税制度を維持し、課税の公平を確保するため、悪質な脱税者に対して、刑事責任を迫及することを目的とした特別な調査を行っています。

査察調査は通常の税務調査とは異なり、強制調査を行います。様々な手段で脱税を察知し、裁判所から許可状を得て対象者の自宅や事務所等を一齐に搜索します。その後、差し押さえた証拠物件等を基に脱税の事実を検討し、検察官へ脱税を告発します。一見すると華やかではありますが、地道で綿密な事務の積み重ねと緊張感が求められる仕事です。



Question 2 仕事上で意識していることは

査察部門は、申告納税制度を維持する最後の砦として、唯一強制調査を行う権限を与えられた部署です。最後の砦である査察部門が不正を見逃しては、適正・公平な課税を実現することはできません。

査察部門の重要性を意識し、絶対に不正を見逃さないという責任感と使命感を持って日夜職務に従事しています。

Question 3 仕事のやりがいや達成感を教えてください

査察部門では、様々な観点から情報収集を行い、大口・悪質な脱税が見込まれる事案については内偵調査を進め、裁判所に搜索等の許可状を請求します。ここに至るまでには、情報の精査や張り込みを行うなど、長期に渡り肉体的にも精神的にも大変根気のいる仕事です。

しかし、志を同じくする仲間と共に、不正を把握し、強制調査に着手して脱税の証拠を集め、その積み重ねの結果、脱税事件として告発した際には、何物にも代えがたい達成感や充実感を味わうことができます。



メッセージ

私が税務職員を希望した理由の一つは、女性が安心して働き続けられる環境が整備されているところにあります。私は二人の子を持つ母親ですが、多忙な査察部門であっても、子供が病気などの際は気兼ねなく休暇を取得できますし、家庭と両立しながら楽しく仕事をしています。制度が充実しているだけでなく、とても風通しの良い職場です。

また、女性だけでなく男性も育児休暇を取得するなど、積極的に子育てに参加できる環境が整っています。性別や家庭環境にかかわらず、自身の能力で活躍できる点は、非常にやりがいを感じられます。脱税を許さないという強い信念と情熱で、私達と一緒に仕事をしてみませんか。

